

第45回県政世論調査～環境に関する事項(結果報告)～

環境政策課

1. 調査の目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政を進めるうえでの基礎資料とする。

2. 調査の概要

- (1) 調査地域 県内全域(全市町から対象者抽出)
 - (2) 調査対象 県内在住の20歳以上の男女 3,000人(県内在住外国人を含む)
 - (3) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
 - (4) 調査方法 郵送式・無記名方式
 - (5) 調査期間 平成24年6月5日～6月29日
 - (6) 有効回収率 55.1%(1,622人)
- *10月10日に公表済み

3 環境に関する事項～目的

県が優先的に取り組むべき環境課題や施策を把握する目的

平成23年3月の東日本を襲った震災やそれに伴う事故などにより、環境行政を巡る社会・経済情勢が大きく変化していると考えられることから、環境に対する県民の意識を調査し、今後の環境行政の方向性等を検討する基礎資料として活用する。

環境学習全般に関する県民意識を把握する目的

環境保全活動・環境教育推進法の改正や東日本大震災を契機としたつながりへの意識変化などの社会情勢の変化などを踏まえた、県民の環境学習に対する県民意識を調査し、今後の環境学習の方向性等を検討する基礎資料として活用する。

4 質問項目と回答結果

【環境行政全般】

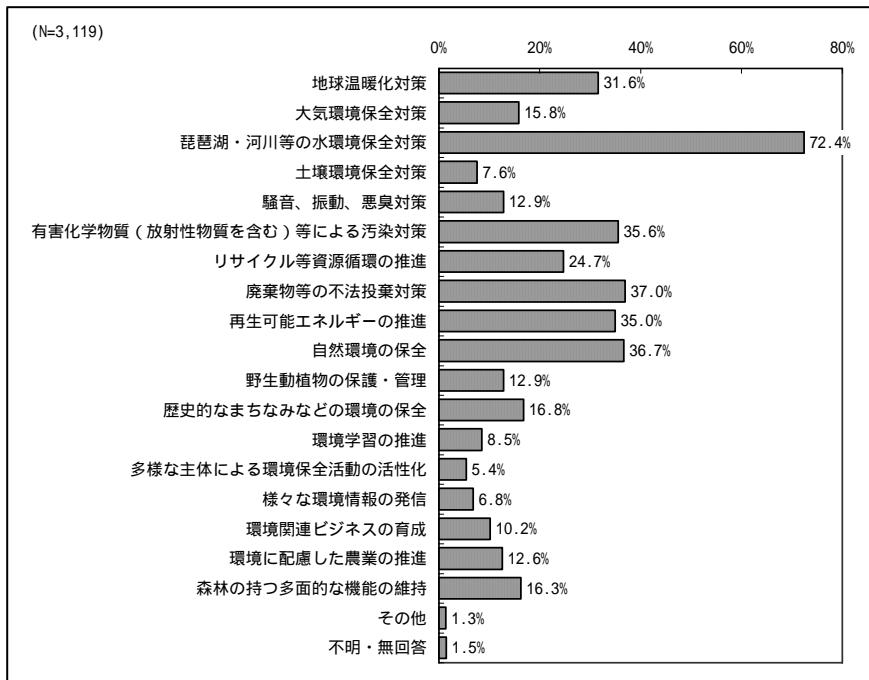
問32 あなたは、県が優先的に取り組むべき環境課題や施策は何だと思いますか。(5つまで)

| | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 1 地球温暖化対策(31.6%) | 2 大気環境保全対策(15.8%) |
| 3 琵琶湖・河川等の水環境保全対策(72.4%) | 4 土壌環境保全対策(7.6%) |
| 5 騒音、振動、悪臭対策(12.9%) | 6 有害化学物質(放射性物質を含む)等による汚染対策(35.6%) |
| 7 リサイクル等資源循環の推進(24.7%) | 8 廃棄物等の不法投棄対策(37.0%) |
| 9 再生可能エネルギーの推進(35.0%) | 10 自然環境の保全(36.7%) |
| 11 野生動植物の保護・管理(12.9%) | 12 歴史的なまちなみなどの環境の保全(16.8%) |
| 13 環境学習の推進(8.5%) | 14 多様な主体による環境保全活動の活性化(5.4%) |
| 15 様々な環境情報の発信(6.8%) | 16 環境関連ビジネスの育成(10.2%) |
| 17 環境に配慮した農業の推進(12.6%) | 18 森林の持つ多面的な機能の維持(16.3%) |
| 19 その他(具体的に |) (1.3%) |

不明・無回答(1.5%)

「琵琶湖・河川等の水環境保全対策」が72.4%

県が優先的に取り組むべき環境課題や施策については、「琵琶湖・河川等の水環境保全対策」が72.4%で最も多く、以下、「廃棄物等の不法投棄対策」が37.0%、「自然環境の保全」が36.7%、「有害化学物質（放射性物質を含む）等による汚染対策」が35.6%、「再生可能エネルギーの推進」が35.0%と続いている。



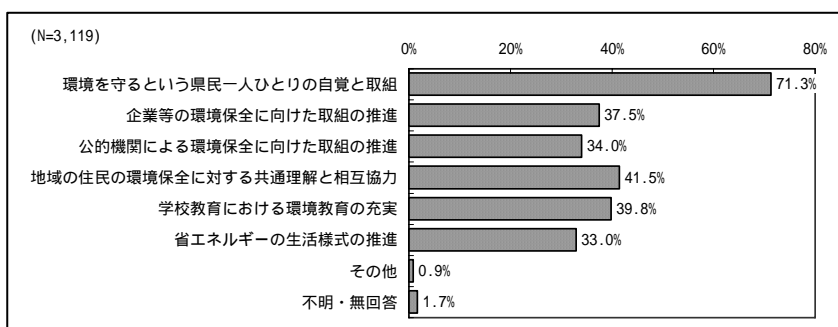
問 33 あなたは、環境問題を解決し、良好な環境を次世代に引き継ぐためには、どのようなことが重要であると考えますか。（は3つまで）

- 1 環境を守るという県民一人ひとりの自覚と取組 (71.3%)
- 2 企業等の環境保全に向けた取組の推進 (37.5%)
- 3 公的機関による環境保全に向けた取組の推進 (34.0%)
- 4 地域の住民の環境保全に対する共通理解と相互協力 (41.5%)
- 5 学校教育における環境教育の充実 (39.8%)
- 6 省エネルギーの生活様式の推進 (33.0%)
- 7 その他（具体的に

不明・無回答(1.7%)

「環境を守るという県民一人ひとりの自覚と取組」が71.3%

環境問題の解決に重要なことについては、「環境を守るという県民一人ひとりの自覚と取組」が71.3%で最も多く、以下、「地域の住民の環境保全に対する共通理解と相互協力」が41.5%、「学校教育における環境教育の充実」が39.8%、「企業等の環境保全に向けた取組の推進」が37.5%と続いている。



【環境学習に関する事項】

問 34 あなたは、日頃から「環境学習」 1 をしていますか。(1 は1つだけ)

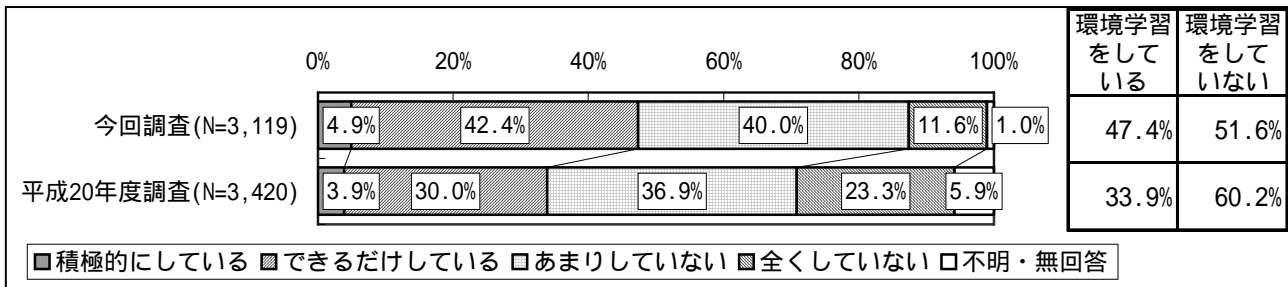
1 環境学習...環境に関心を持ち、環境に対する自らの責任と役割を自覚し、環境に対する理解を深めるとともに、環境保全行動につなげていく意欲および問題解決に資する能力を高めるための教育および学習。

| | |
|-------------------|--------------------|
| 1 積極的にしている(4.9%) | 2 できるだけしている(42.4%) |
| 3 あまりしていない(40.0%) | 4 全くしていない(11.6%) |

不明・無回答(1.0%)

『環境学習をしている』が47.4%

「環境学習」の実践状況については、『環境学習をしている』（「積極的にしている」と「できるだけしている」の合計）は47.4%となっており、平成20年度調査と比較すると13.5ポイント増加している。また、『環境学習をしていない』（「あまりしていない」と「全くしていない」の合計）は51.6%となっており、平成20年度調査と比較すると8.6ポイント減少している。



付問 1 問 34 で「3」または「4」と回答された方におたずねします。

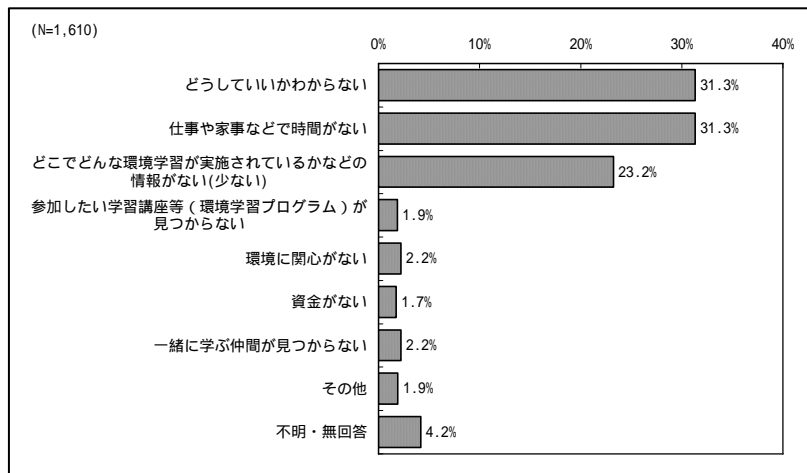
その理由として、最もあてはまるものを1つ選んでください。(1 は1つだけ)

- 1 どうしていいかわからない(31.3%)
- 2 仕事や家事などで時間がない(31.3%)
- 3 どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報が少ない(少ない)(23.2%)
- 4 参加したい学習講座等(環境学習プログラム)が見つからない(1.9%)
- 5 環境に関心がない(2.2%)
- 6 資金がない(1.7%)
- 7 一緒に学ぶ仲間が見つからない(2.2%)
- 8 その他(具体的に) (1.9%)

不明・無回答(4.2%)

「どうしていいかわからない」と「仕事や家事などで時間がない」がともに31.3%

問34で「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した人に対して、「環境学習」をしていない理由をたずねたところ、「どうしていいかわからない」と「仕事や家事などで時間がない」がともに31.3%で最も多く、次いで「どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報が少ない(少ない)」が23.2%となっている。



問 35 あなたは、日頃から「環境保全行動」₂をしていますか。(は1つだけ)

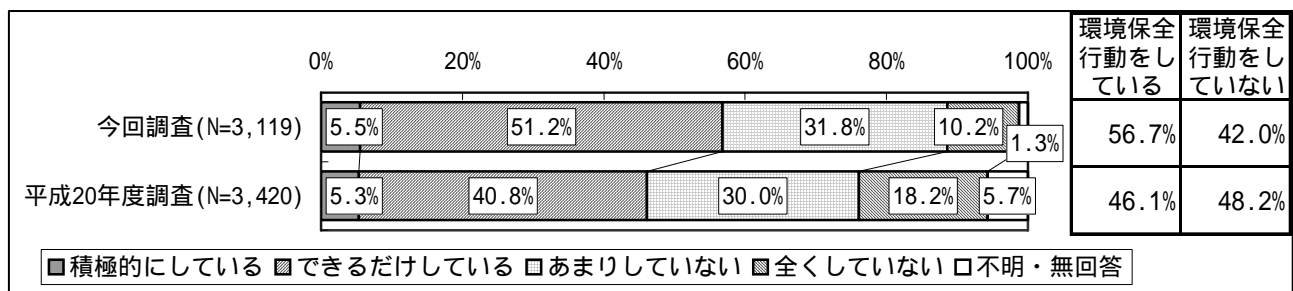
2 環境保全行動...日常生活および事業活動において自らが与えている環境への負荷を低減するための行動その他環境の保全のために行われる行動で、持続可能な社会の構築に貢献する具体的行動。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 積極的にしている(5.5%) | 2 できるだけしている(51.2%) |
| 3 あまりしていない(31.8%) | 4 全くしていない(10.2%) |

不明・無回答(1.3%)

『環境保全行動をしている』が56.7%

「環境保全行動」の実践状況については、『環境保全行動をしている』（「積極的にしている」と「できるだけしている」の合計）は56.7%となっており、平成20年度調査と比較すると10.6ポイント増加している。また、『環境保全行動をしていない』（「あまりしていない」と「全くしていない」の合計）は42.0%となっており、平成20年度調査と比較すると6.2ポイント減少している。



付問 1 問 35 で「3」または「4」と回答された方におたずねします。

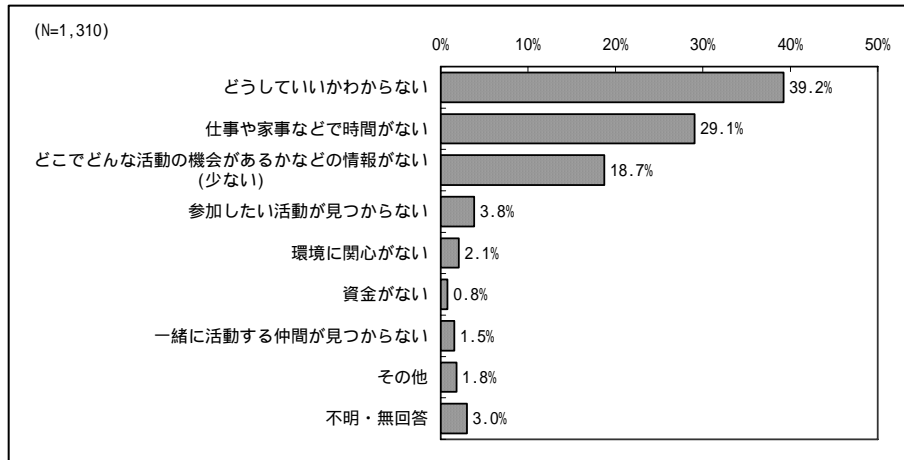
その理由として、最もあてはまるものを1つ選んでください。(は1つだけ)

- 1 どうしていいかわからない(39.2%)
- 2 仕事や家事などで時間がない(29.1%)
- 3 どこでどんな活動の機会があるかなどの情報がない(少ない)(18.7%)
- 4 参加したい活動が見つからない(3.8%)
- 5 環境に関心がない(2.1%)
- 6 資金がない(0.8%)
- 7 一緒に活動する仲間が見つからない(1.5%)
- 8 その他(具体的に) (1.8%)

不明・無回答(3.0%)

「どうしていいかわからない」が39.2%

問35で「あまりしていない」または「全くしていない」と回答した人に対して、「環境保全行動」をしていない理由をたずねたところ、「環境保全行動」をしていない理由については、「どうしていいかわからない」が39.2%で最も多く、以下、「仕事や家事などで時間がない」が29.1%、「どこでどんな活動の機会があるかなどの情報が少ない」が18.7%と続いている。



問 36 あなたは、県民の主体的な環境学習を推進するために、特に重要だと思う県の施策は何だと思いますか。(は1つだけ)

- 1 地域で環境学習を担う人材の養成および活用(11.8%)
- 2 学習講座等(環境学習プログラム)の整備および活用(3.6%)
- 3 身近なところで環境学習に取り組める場や機会の充実(48.3%)
- 4 環境学習に関連する情報の収集および提供(12.6%)
- 5 環境学習を担うNPOや企業等の交流や連携の推進(5.2%)
- 6 環境学習や環境保全活動への参加意欲を高める普及啓発(11.5%)
- 7 その他(具体的に) (1.6%)

不明・無回答(5.3%)

「身近なところで環境学習に取り組める場や機会の充実」が48.3%

県民の主体的な環境学習を推進するために重要な県の施策については、「身近なところで環境学習に取り組める場や機会の充実」が48.3%で最も多く、以下、「環境学習に関連する情報の収集および提供」が12.6%、「地域で環境学習を担う人材の養成および活用」が11.8%と続いている。

